2006 年 3 月 10 日

オマーンからの液化天然ガス(ＬＮＧ)の共同購入･販売について

三菱商事と東京電力は、このたび、オマーン産の液化天然ガス(ＬＮＧ)を本年4月より共同で購入･販売することに合意いたしました。

これにより両社は、日本･米国という異なる市場において確実にＬＮＧを販売するとともに、東京電力のＬＮＧ需給変動対応にも貢献するという、従来にない全く新しい事業スキームを実現いたします。

今後は、両社が出資･設立した新会社「セルト株式会社」(日本法人、以下「セルト社」)を通じて本事業を推進してまいります*。

*東京電力は、新たに設立した 100%子会社「TEPCO トレーディング社」を通じて出資

具体的なスキームは以下の通りです。(別紙スキーム図参照)

- 当社は、オマーン国「Qalhat(カルハット) ＬＮＧ社」と長期ＬＮＧ売買契約を締結し(2004 年 7 月締結済み)、2006 年より 15 年間にわたり年間 80 万トンのＬＮＧを積地渡し(FOB)にて購入。
- 当社は、購入したＬＮＧを「オマーンシッピング社」および「日本郵船株式会社」より定期傭船するＬＮＧ船を用いて、揚地渡し(Ex-ship)にて「セルト社」に販売。
- 「セルト社」は、購入したＬＮＧを、当社(当社が投入権を持つ米国基地向け)と東京電力のいずれかに販売。(「セルト社」、当社、東京電力の三者間で本年4月にＬＮＧ売買契約を締結予定)
- 「セルト社」が当社(米国市場)と東京電力のどちらに販売するかは、両社の需給状況等を勘案したうえで決定。
- セルト社の年間販売額は約 270 億円、15 年間で約 4,000 億円の見通し。

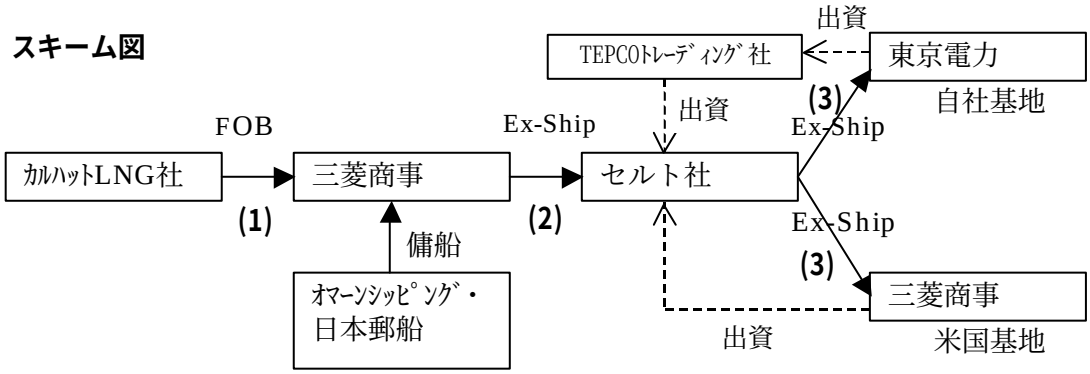
当社は過去 30 年以上にわたり日本における買主代理業務、液化会社への参画、上流権益への投資を通じたＬＮＧ事業の実績があり、米国下流市場への参画により、上流から下流に至るＬＮＧバリューチェーン全体での事業活動の拡大を目指しております。当社は本契約により日本向けＬＮＧ需要変動に対する供給セキュリティを提供するとともに、米国など成長市場へのＬＮＧグローバルトレーディング活動を拡大できるものと考えております。

東京電力は、ＬＮＧ調達の柔軟性や経済性を高めることを目的に、ガス田の開発、生産事業から輸送･最終消費に至る一貫したＬＮＧバリューチェーンを構築することに加え、ＦＯＢや自社ＬＮＧ船の導入などを戦略的に進めておりますが、本事業への参画により、さらなる需給変動対応力の向上や事業収益の確保が期待できるものと考えております。

以上

【別紙】

スキーム図



【売買契約の概要】

(1) カルハットＬＮＧ社・当社(2004 年 7 月 1 日に締結済み)

① **売主：カルハットＬＮＧ社**
　買主：当社
② **期間：2006 年 1 月から 15 年間**
③ **数量：年間 80 万トン**
④ **受渡：積地渡し(FOB)**

(2) 当社・セルト社 (2006 年 4 月に締結予定)

① **売主：当社**
　買主：セルト社
② **期間：2006 年 1 月から 15 年間**
③ **数量：年間 80 万トン**
④ **受渡：揚地渡し(Ex-Ship)**

(3) セルト社・東京電力・当社 (2006 年4月に締結予定)

① **売主：セルト社**
　買主：当社、東京電力
② **期間：2006 年 1 月から 15 年間**
③ **数量：年間 80 万トン**
④ **受渡：揚地渡し(Ex-Ship)**

【新会社の概要】

セルト株式会社（CELT INC.）

①所　在　地：東京都千代田区丸の内2丁目6番3号
②社　　長：加藤晴二（当社株式会社執行役員天然ガス事業本部長）
③事業内容：LNG の購入・販売
④資　本　金：1 億円
⑤出資比率：TEPCO トレーディング 50%、当社 50%
⑥会社設立：平成 18 年 1 月
⑦事業開始：平成 18 年 1 月

＜参考＞

TEPCO トレーディング株式会社（TEPCO Trading Co., Ltd.）

①所　在　地：東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 3 号
②社　　長：橋本　哲（東京電力株式会社執行役員燃料部長）
③事業内容：子会社株式の保有、LNG の購入・販売
④資　本　金：1 億円
⑤出資比率：東京電力 100%
⑥会社設立：平成 18 年 1 月
⑦事業開始：平成 18 年 1 月